

ハヤブサ消防団



ロケ地マップ

群馬県 西毛地区

(富岡市 下仁田町 甘楽町)



ロケ地 **富岡市**
1 **陽雲寺**
 ヨウウンジ 見学可

江西佑空が住職を務める光鷄山随明寺

江西佑空が住職を務める寺。太郎と中山田が座禅をしたり、太郎が住職に話を聞きに来たりとたびたび作中に登場。寺にある寄進札が外されているのがアビゲイル信者に改宗した人と太郎が推理する印象的なシーンなどを撮影。



撮影耳よりネタ
 約100名のアビゲイル信者(エキストラ)が迫ってくるシーンは迫力があつた。



陽雲寺
 1506年(永正3年)に菅原城の城主であった高田憲頼(高田家10代)が祖先の冥福を祈るため創立した曹洞宗の寺。本堂へと向かう長い参道には、この寺の歴史を物語るような石像が立ち並んでいる。

所在地 富岡市妙義町菅原29
アクセス 上信越自動車道松井田妙義ICから車で12分、JR信越線松井田駅からタクシーで10分

ロケ地 **富岡市**
2 **富岡市消防団16分団詰所**
 トミオカシヨウボウダンジュウロクブンダンツメシヨ ※ 外観のみ見学可

太郎が入団する八百万町消防団ハヤブサ分団詰所

作品名にもなっている消防団の詰所。入団を決意した太郎を団員が歓迎する場面やアビゲイルの集会が行われる日、消防車の準備をしている様子などが撮影された。



撮影耳よりネタ
 撮影用に建物上部に「火の用心」の看板を設置したが、16分団からの要望を受けて撤去せず、そのまま残すことになった。

300人の団員と16の分団で構成される富岡市消防団。16分団は陽雲寺などもある菅原地区を担当している。

所在地 富岡市妙義町菅原1071
アクセス 上信越自動車道松井田妙義ICから車で11分、JR信越線松井田駅からタクシーで10分

ロケ地 **富岡市**
4 **富岡市妙義商工会**
 トミオカシヨウキョウシヨウコウカイ ※ 外観のみ見学可

太郎と彩が打合せしていた八百万町役場ハヤブサ出張所



所在地 富岡市妙義町上高田1197-6
アクセス 上信越自動車道松井田妙義ICから車で10分、上信電鉄南蛇井駅からタクシーで10分

ロケ地 **富岡市**
5 **富岡市妙義中央公民館**
 トミオカシヨウキョウシヨウコウミンカン 見学可

八百万警察署の外観



所在地 富岡市妙義町上高田1195-1
アクセス 上信越自動車道松井田妙義ICから車で11分、上信電鉄南蛇井駅からタクシーで10分

ロケ地 **富岡市**
6 **(株)日本高分子材料研究所**
 (カブ)ニホンコウブンシサイリョウケンキョウシヨ

勘介と宮原が永野署長と話していた八百万警察署長室



所在地 富岡市妙義町上高田1206
アクセス 上信越自動車道松井田妙義ICから車で11分、上信電鉄南蛇井駅からタクシーで10分

ロケ地 **富岡市**
7 **富岡製糸場**
 トミオカセイシジョウ 見学可 ※撮影箇所は非公開

ハヤブサ地区の田舎風景(50年前)

ハヤブサ地区の田舎風景を回想して、幼い頃の展子と映子が子守唄を歌っているシーンを撮影した。



撮影耳よりネタ
 通常は非公開のエリアで撮影が行われたが、美術セットを設置することで、製糸場内で撮影しているとは思えない昭和な雰囲気を感じていた。



富岡製糸場
 明治5年(1872年)に明治政府が日本の近代化のために設立した模範器械製糸場。西洋の建築技術を取り入れた木骨煉瓦造の建物(置簀所や繰糸所)など、主要な施設が創業当時のまま、ほぼ完全に残されている。

所在地 富岡市富岡1-1
アクセス 上信越自動車道富岡ICから車で5分、上信電鉄上州富岡駅から徒歩15分



旧相野田農産物直売センター
 地元の農家さん達が協力して作り、地域の特産品や農産物を販売する直売センターとして運営されていたが、現在は倉庫として活用されている。

所在地 富岡市相野田421
アクセス 上信越自動車道富岡ICから車で12分、上信電鉄上州富岡駅からタクシーで10分

ロケ地 **富岡市**
8 **旧相野田農産物直売センター**
 キョウアイノタノウサンブツチョクバイセンター 見学可

居酒屋△の外観

太郎が藤本勘助に連れて来られた居酒屋△の外観。この居酒屋で太郎は地元消防団の勧誘を受けた。また、ハヤブサ地区の人々や消防団が訪れる場所として作中でたびたび登場している。



撮影耳よりネタ
 撮影の度に、△の外観を作っていた。「本物の居酒屋ができるのか」と問い合わせがあったほどの見事な出来栄だった。

ロケ地 **富岡市**
9 **もみじ平総合公園北ゾーン**
 モミジダイラソウゴウコウエンキタゾーン 見学可

聖母降臨の儀式会場として信者が集まる山中の開けた場所

皆既日食の日に、アビゲイルの信者たちが聖母降臨の儀式を見るために集まってくる作品の重要な場面。



撮影耳よりネタ
 広い芝生に信者が整列して集まるシーンは、地元のエキストラが150名以上参加して怪しい雰囲気を作り出していた。

自然豊かな高台に広がる公園は子どもたちが遊べる遊具などが充実。北エリアには芝生が広がり住民の憩いの場となっている。

所在地 富岡市上黒岩1377-1
アクセス 上信越自動車道富岡ICから車で13分、上信電鉄上州富岡駅からタクシーで10分

ロケ地 **富岡市**
10 **大塩湖**
 オオシオコ 見学可

真鍋がハヤブサ地区を見下ろしている場所

展子と映子が訪れた山で、展子が「アビゲイルっていうところにいるの」と映子に伝えたシーンを撮影。



撮影耳よりネタ
 ロケハンをした際に、展望台からの希望角度での撮影には周りの木々を剪定する必要があった。そのことを管理している地元の人に伝えると、即座に対応協力してくれた。

群馬サファリパークに隣接する湖。湖畔には約1,000本の桜やつつじ、あじさいなど色とりどりの花々が咲き乱れる。

所在地 富岡市南後園1970
アクセス 上信越自動車道富岡ICから車で10分、上信電鉄上州富岡駅からタクシーで15分

ロケ地 **11** 下仁田町
道の駅しもにた
ミチノエキシモニタ

見学可
飲食可

太郎がソフトクリームを食べた道の駅

太郎が立ち寄った道の駅。太郎が中山田と電話で話している場面やソフトクリームを買って食べているシーンが撮影された。



劇中に出てきたソフトクリームはこれ!



放牧でストレスなく育てられた神津牧場のジャージー牛の新鮮な牛乳を使う。牛乳そのままの濃厚な味わいながら後味はさっぱり。



道の駅しもにた
シイタケなど地元の新鮮な農産物や下仁田ねぎやこんにやくなど地域の特産物を販売する道の駅。太郎も食べた一番人気の神津牧場ソフトクリームは、珍しいジャージー牛乳を使った濃厚な味わいが魅力。観光案内所も併設している。

所在地 甘楽郡下仁田町馬山3766-11
アクセス 上信越自動車道下仁田ICから車で5分、上信電鉄千平駅から徒歩15分

撮影耳よりネタ
撮影途中に、出演者が現場に居合わせた小さい子どもと気さくに触れあっている姿を見て、子ども好きな人柄が伝わってきた(道の駅スタッフ談)。

ロケ地 **15** 甘楽町
甘楽町役場
カンラマチヤクバ

見学可
※町長室は不可

八百万町役場

scene 1 役場ロビー

彩が制作を進めている町おこしドラマの脚本を持って町長室の前で待っているシーンのほか、太郎、彩、森野、矢内の4人で町おこしドラマの打ち合わせをしているシーンが撮影された。

撮影耳よりネタ
甘楽町役場の職員総勢64名がエキストラとして、町役場の職員や住民、記者、カメラマンなどの役を演じた。撮影にあたり、前庭の駐車場は封鎖され、来庁する住民に迷惑が掛からないよう、駐車場で職員が誘導を行った。



scene 2 町長室

町長室で町長を待ち構えているハヤブサ消防団。「ふるさと観光プロジェクト」が町長の交際費に回っている事実を突き止めた賢作たちが町長に迫り、町おこしドラマの制作にこぎつけた場面を撮影。



昔からの風情が残る甘楽町の中心地にある町役場。ロケ地としての見学はもちろん多種多様な観光マップも設置してあるため、情報収集のために立ち寄るのもオススメ。

所在地 甘楽郡甘楽町小幡161-1
アクセス 上信越自動車道甘楽スマートICから車で10分、上信電鉄上州福島駅からタクシーで5分

scene 3 役場前庭

彩が町おこしドラマの打ち合わせで役場に訪れる場面や皆既日食が始まった時間に、役場の職員や住民が空を見上げるシーンを撮影。



ロケ地 **12** 下仁田町
下仁田町自然史館
シモニタマゼンセンシカン

見学可

消防操法大会の練習シーンなど(八百万町立準小学校)

準小学校の校庭としてハヤブサ消防団が消防操法大会に向けて練習をしていたり、太郎が町おこしドラマの撮影に参加する場面や、放水訓練をしているところなど作中の随所で撮影スポットとして利用された。



地元消防団が撮影をサポート

撮影耳よりネタ
富岡市と下仁田町の消防団が合同で撮影協力した。

ロケ地 **13** 下仁田町
はねこし峡
ハネコシキョウ

見学可

下仁田町自然史館

廃校となった小学校を利用して、下仁田ジオパーク拠点施設として下仁田周辺の岩石、化石などを展示している博物館。黒板や学校机などをそのまま活かした展示で、懐かしい雰囲気を感じながら下仁田の自然について知ることができる。

所在地 甘楽郡下仁田町青倉158-1
アクセス 上信越自動車道下仁田ICから車で10分、上信電鉄下仁田駅からタクシーで5分

ロケ地 **13** 下仁田町
はねこし峡
ハネコシキョウ

見学可

展子母の飛び降り現場

展子の母が幼い子を残して飛び降り自殺を図る回想シーンが撮影された。



撮影耳よりネタ
撮影場所のはねこし峡はかつて、茶店や水泳場が作られるほどの名勝だった。

硬い岩盤の上を錦川が流れているため、川幅が広がらずに下へと削られた結果このような渓谷へと変わったと言われる。飛んではねたら越えられる位、狭い峡谷というのが名前の由来。

所在地 甘楽郡下仁田町白山
アクセス 上信越自動車道下仁田ICから車で7分、上信電鉄下仁田駅から徒歩20分

ロケ地 **14** 下仁田町
下仁田カントリークラブ
シモニタカントリークラブ

※施設利用で見学可

太郎と中山田がゴルフをしていたハヤブサカントリークラブ

中山田がプレーするのを楽しみにしたゴルフ場。家の中にあつたヘルメットと洋服が何か聞かれ、消防団に入っていると太郎が言うと、吹き出す中山田の様子などゴルフをしているシーンを撮影した。



撮影耳よりネタ
ハヤブサ消防団の公式Instagramでは、中山田がゴルフ場でマジックをしている動画が投稿されている。

桂林を思わせる奇岩の山々に囲まれた自然豊かな18コースのゴルフ場。クラブハウス、ラウンジ、ショップを併設。レストランでは地元食材を使った季節のメニューを提供する。

所在地 甘楽郡下仁田町馬山625
アクセス 上信越自動車道下仁田ICから車で3分、上信電鉄南蛇井駅から徒歩15分

ロケ地 **16** 甘楽町
上州福島駅・駅周辺
ジョウシュウフクシマエキ・エキシュウヘン

見学可

中山田がアロハシャツで降り立つ駅(八百万駅)など

太郎が中山田を迎えに来るシーンや太郎と中山田が車で話をしているときアビゲイル信者が駅から出てくる場面を撮影。駅周辺には彩がアビゲイル信者と知った太郎が渡った踏切や映子が見ていた倉庫も駅近くにある。



撮影耳よりネタ
出演者が駅の車掌室を見て、そのレトロな雰囲気に驚いていた。駅を利用する学生たちが俳優に会えて盛り上がっていた。

駅舎は木造でレトロな雰囲気がある。歴史情緒のある城下町小幡や名勝楽山園、こんにやくパークの最寄り駅ということで無料でレンタサイクルが借りられる。

所在地 甘楽郡甘楽町福島664-5
アクセス 上信越自動車道甘楽スマートICから車で10分

ロケ地 **17** 甘楽町
旧甘楽町立第二中学校
キュウカンラチョウリツダイニチュウガッコウ

見学可

第67回八百万町消防操法大会の会場

消防操法大会の会場として大会シーンを撮影。町長が見守る中、太郎たちハヤブサ消防団は訓練の成果を見せようと奮闘するが、ホースの水圧をコントロールできず町長を吹き飛ばしてしまう。

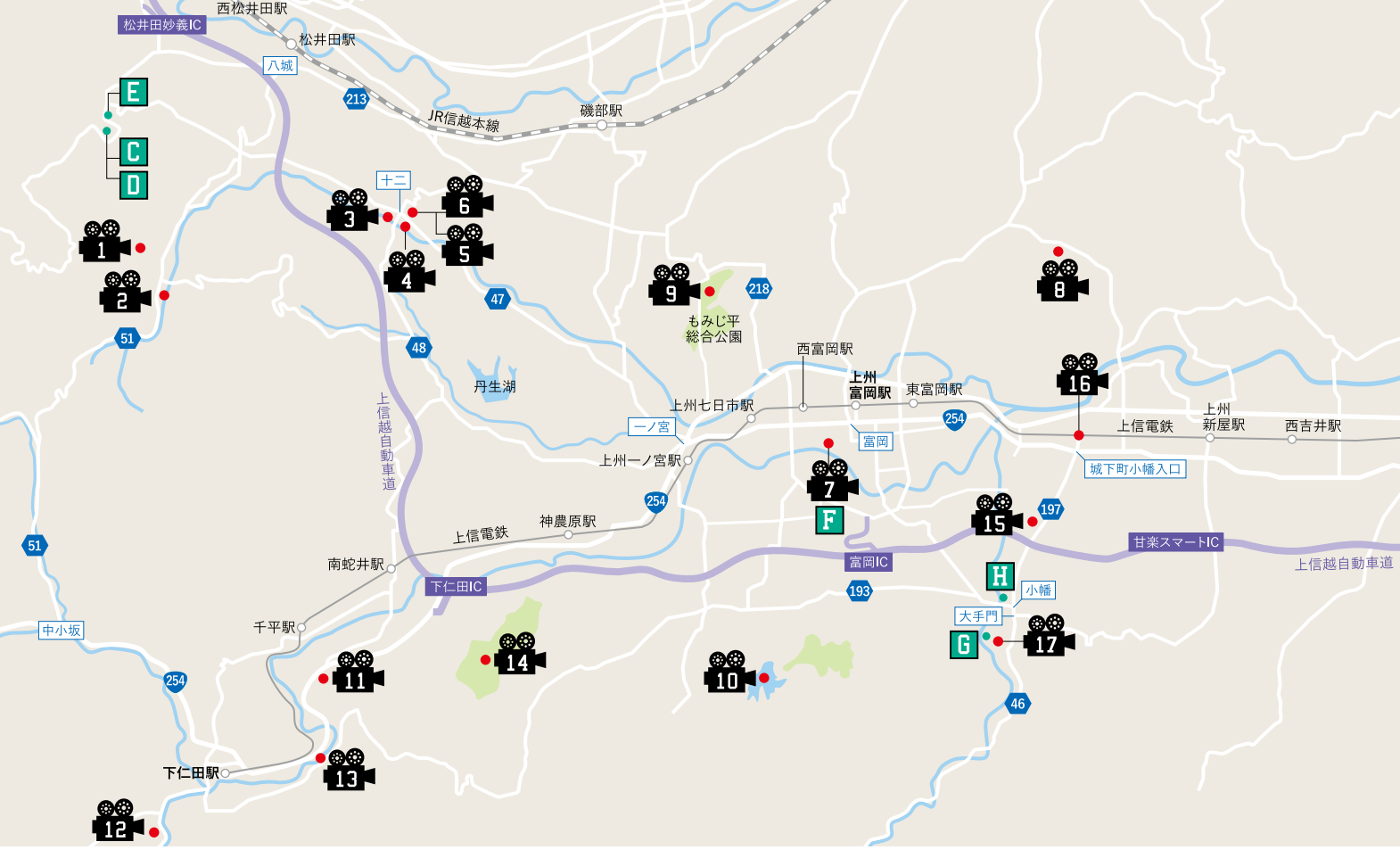


撮影耳よりネタ
地元で実際に働いている消防関係者たちが全面的にバックアップ。本物の消防車がズラリ集結したほか、275人のエキストラが出演するなど大がかりなロケとなった。

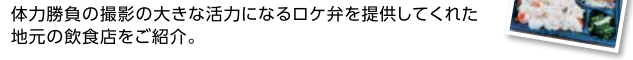
雄川など甘楽町の自然に囲まれ、楽山園の隣接地にあり、歴史と文化を大切にしつつ、時代に応える教育が発展した場所。平成28年に第一中学校と合併して「甘楽中学校」が誕生した後は、廃校となっている。

所在地 甘楽郡甘楽町小幡684-1
アクセス 上信越自動車道甘楽スマートICから車で約10分、上信電鉄上州福島駅からタクシーで約10分

ハヤブサ消防団ロケ地マップ



撮影合間の おいしいひとコマ **ロケ弁インデックス**



体力勝負の撮影の大きな活力になるロケ弁を提供してくれた地元の飲食店をご紹介します。

アサヒ 所 富岡市富岡22-4 電 070-4098-0700
昭和レトロな雰囲気味わえる大衆居酒屋。定番の焼き鳥のほか、揚げ物、一品料理など豊富なメニューがそろう。

IL.PINO 所 富岡市富岡1041 電 0274-63-0633
ピザやパスタ、おつまみメニュー、デザートなどに地元産の旬の食材を用いた本格イタリア料理が味わえる。

大塚屋 所 富岡市富岡1169 電 0274-62-1237
大正時代に建築された古民家を改装した総菜店。新鮮な卵を使っただし巻き卵や親子丼、オムライスが人気。

松竹飯店 所 富岡市田島232-7 電 0274-63-2358
えびそばや五目そばなどの種類のほか、大きめの餃子や鶏唐揚げが味わえる長年地域に愛される中華料理店。

御山亭 所 富岡市妙義町妙義1-1(妙義ふれあいプラザ内) 電 0274-60-7600
妙義ふれあいプラザ館内にある食事処。そばや天ぷら、小鉢などに地元産の食材を使う御山御膳がオススメ。

道の駅甘楽 所 甘楽郡甘楽町小幡444-1 電 0274-74-5445
もちぎびやキジ肉を使った「桃太郎ごはん」をはじめ地粉のうどんやそばなどを提供。本格石窯焼きピザも人気。

下仁田こんにやく観光センター 所 甘楽郡下仁田町東野牧224-5 電 0274-82-5411
町の特産品「こんにやく」を製造販売。下仁田ネギを使ったコロッケやこんにやくグルメが楽しめる食事処もある。

鍋屋 所 甘楽郡下仁田町下仁田358 電 0274-82-2028
上州豚のかつ丼とすき焼き定食が看板。懐かしい雰囲気店内で、昔ながらの定食メニューも楽しめる。

安兵衛 所 甘楽郡下仁田町下仁田363-6 電 0274-82-2516
オムライスやナポリタンなどの洋食メニュー。カツ丼やジコ定食などのご当地グルメが地元の人に愛されている。

常盤館 所 甘楽郡下仁田町下仁田359-2 電 0274-82-2216
大正元年創業の割烹旅館。名物のこんにやく料理や下仁田葱すき焼き(冬季限定)など食事だけの利用もOK。

食亭エイト 所 甘楽郡下仁田町下仁田366-2 電 0274-82-2371
代々引き継がれたタレを使ったカツ丼やバラ肉丼が名物。丼物に麺類、定食類など豊富なメニューと味が◎。

日昇軒 所 甘楽郡下仁田町下仁田360-4 電 0274-82-2285
大正8年創業の老舗洋食店。ビーフシチューやハンバーグなど幅広い世代で人気の洋食メニューを多数用意。

ロケ地と一緒に巡ってみよう!

オススメ立ち寄りスポット

せっかく出かけるなら、周辺の観光施設もおさえておきたい。道の駅でお土産を買ったり、温泉につかって心と体を癒やそう!

立ち寄りスポット A 見る 下仁田町
荒船風穴
アラフネフウケツ

道の駅にもたから車で50分

自然の冷蔵庫を思わせる冷風を肌で体感できる史跡
天然の冷風を利用した日本最大規模の蚕種(カイコの卵)の貯蔵所跡で、2014年「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産として世界文化遺産に登録。現在も春から秋にかけて吹き出す冷風を体感できる。

所 甘楽郡下仁田町南野牧甲10690-2 電 0274-82-5345

立ち寄りスポット C 見る 富岡市
妙義ビジターセンター
ミウギビジターセンター

陽雲寺から車で10分

妙義山周辺の観光や歴史登山情報などを幅広く発信
2023年8月にオープンした妙義地域の魅力発信拠点。プロジェクトマップングを使った妙義山の大型模型展示では妙義山の自然や歴史をわかりやすく解説。絵画や工芸などの企画展も随時開催している。

所 富岡市妙義町妙義1-5 電 0274-73-2585

立ち寄りスポット E 買う ¥ 富岡市
道の駅 みょうぎ
ミチノエキ ミョウギ

陽雲寺から車で10分

特産品販売や食事など妙義山観光で立ち寄りしたい
妙義神社にほど近い場所にある道の駅。こんにやく、下仁田ねぎ、マイタケ、手作り味噌などの特産品を販売するほか、食堂ではそばやうどん、定食が味わえる。季節ごとにフレーバーが変わるソフトクリームも人気。

所 富岡市妙義町岳322-7 電 0274-73-3991

立ち寄りスポット G 見る 甘楽町
国指定名勝 楽山園
クニシテイメイショウ ラクサンエン

旧甘楽第二中学校から徒歩2分

織田氏により築庭された県内唯一の大名庭園
江戸時代初期に織田氏によって造られた小幡藩邸の庭園。周辺の山々を借景とする群馬県唯一の大名庭園で国の名勝に指定されている。春の茶会や秋のお月見など季節ごとにイベントが開催され、多くの人が訪れる。

所 甘楽郡甘楽町小幡648-2 電 0274-64-8324 備 見学は有料

立ち寄りスポット B 遊ぶ 下仁田町
神津牧場
コウツボクジョウ

道の駅にもたから車で45分

牛がストレス無く暮らす日本で最古の洋式牧場
標高1,000m、387haの広大な土地に約150頭のイギリス原産のジャージー牛がのびのびと暮らす牧場。ヤギや羊などの動物たちとの触れ合いやキャンプやバーベキューなど一日中のんびり過ごせる。

所 甘楽郡下仁田町南野牧250 電 0274-84-2363

立ち寄りスポット D つかる 富岡市
妙義ふれあいプラザ 妙義温泉 もみじの湯
ミウギフレアイプラザ ミウギオンセン モミジノユ

陽雲寺から車で10分

妙義山と関東平野を望む絶景を見ながら癒やされる
日本三奇勝の一つ、妙義山の麓にある日帰り温泉。眼下に関東平野が一望できる露天風呂からの景観が魅力で、心も体もリフレッシュできる。施設内の食事処「御山亭」では地元の食材を使ったメニューが楽しめる。

所 富岡市妙義町妙義1-1 電 0274-60-7600

立ち寄りスポット F 見る 富岡市
西置簾所(富岡製糸場内)
ニシオキマユジョ

もみじ平総合公園北ゾーンから車で10分

ガラスの部屋から建物を体感する
西置簾所の1階内部には、壁と天井をガラスで囲った鉄骨造の部屋(ハウス・イン・ハウス)を設けられている。ガラス越しには、西置簾所の壁や天井のありのままの姿が見え、当時の簾倉庫を体感することができる。

所 富岡市富岡1-1 電 0274-67-0075 備 見学は有料

立ち寄りスポット H 買う ¥ 甘楽町
道の駅 甘楽
ミチノエキ カンラ

旧甘楽第二中学校から徒歩10分

直売所や食堂を備えた城下町小幡の玄関口
新鮮な農産物、ふるさとの手づくり食品やこんにやく、味噌、漬物など農産加工品、地域の土産を販売。姉妹都市であるイタリアチェルタルド市から直輸入したワインやオリーブオイルなど、ここでしか手に入らない品もそろう。

所 甘楽郡甘楽町小幡444-1 電 0274-74-5445

田舎町に魅了された小説家の主人公が 怪事件に巻き込まれる戦慄の田園ミステリー

ミステリー作家として活動する主人公、三馬太郎はスランプに悩んでいた。そんな時、父から相続した八百万町ハヤブサ地区にある家の売却についての通知が届き、現地を訪れる。売却するつもりで訪れた太郎であったが、ハヤブサ地区ののどかな雰囲気と美しい景色に魅了され、移住を決意する。移住後、都会のストレスから解放され、穏やかな生活が送れると思っていたが、地元消防団への入団や太郎より少し前に移住した彩と出会う中で、のどかな町で起こる連続放火や住民の不審死など、不可解な事件に巻き込まれていく。



INTERVIEW インタビュー

ドラマにたびたび登場した陽雲寺の住職と、第16分団分団長に撮影にまつわる話を聞いてみた。

本番の声がかかると
役者の顔になる
プロの仕事を見る
貴重な経験をしました



富岡市消防団第16分団
分団長 松本 光一さん

Q所属する第16分団の詰所がロケ地になると聞いたとき、どう思いましたか？

消防本部から連絡をもらったときは、信じられなくて、何を言っているのか理解できませんでした(笑)。普段会えない俳優さんにも会うことができたし、貴重な経験をさせてもらいました。団員も撮影に協力的で、操法シーンや練習や準備、撮影当日も現場に駆けつけてくれました。撮影でも消防団で大切なチームワークを発揮できました。

Q役者さんや制作スタッフとの思い出やエピソードはありますか？

最初は消防車を動かすための必要要員として撮影に関わっていましたが、「こんなときは、実際にどんな動きをしますか？」など質問に答えているうちに、監督や助監督とより良い信頼関係を築きました。最終的には「人が足りないので、分団長も出演しましょう」というような掛け合いもあって、楽しませてもらいました。

Q印象に残っているシーンは何ですか？

第一話で撮影した火災のシーンです。火災現場に消防車で向って放水する一連の流れは数カットに分けて撮影するのが一般的なようですが、このドラマではワンカットの撮影に挑戦していました。消防団員で一連の流れをスムーズに行うのは難しいですし、リハーサルでも失敗ばかりで成功は0。しかし本番では見事に3分超えのワンカットを成功させた聞いて、とても驚きました。



消防車は劇中に何度も登場した。

ロケ地の受け入れが
地域活性化につながって
地元で明るい話題を
届けられてよかった



曹洞宗 金鶏山陽雲寺
住職 設楽 正流さん

Q陽雲寺がドラマのロケ地になったこと、そして現場で実際に役者さんの演技を間近で見た感想は？

陽雲寺は、撮影シーンが多い物語の重要なスポット「随明寺」として登場しました。日々のお寺の業務がある中で、撮影を受け入れるのは大変でしたが、この地域が有名になればよいと思い、撮影を承諾しました。役者さんは撮影前は和やかな雰囲気であたたかみを感じているのに、撮影が始まるとその役にすく入りこむのは、さすがプロだなと思いました。

Q印象に残っているシーンは何ですか？

太郎と中山田の座禅シーンです。役者さんから「座禅中は話をしているのですか？」との質問を受け、「本来は話 shouldn't だが、どの宗派にも属さないという設定であれば、いいのではないかと」と答えると、色々な話をしながらのシーンとなりました。このシーンは撮影状況に応じてさまざまな表情を見せる、役者のすこみを感じた瞬間でした。

Qドラマが放映されてからの反響は？

ウクライナ戦争や能登半島地震など大変なニュースが報じられる中、明るい話題が提供できてよかったです。50年ほど前に陽雲寺に勉強にきていた東大の学生だった方がドラマをきっかけに、来訪してくれました。また、若者が本堂で撮影している光景を多く見ます。お寺は人が亡くなったときに訪れる機会が多いのですが、本来は人を元気づける役割もあると思うので、この撮影をきっかけに多くの人が訪れてくれるのはうれしいです。



寄進札についての話をする住職。



発行：ぐんまフィルムコミッション

群馬県 産業経済部 戦略セールス局 e スポーツ・クリエイティブ推進課内
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1-1
電話番号：027-898-3695 メールアドレス：gunma-fc@pref.gunma.lg.jp

HP: <https://www.gunma-fc.jp/>

HPはこちら



X (旧Twitter)で
情報発信中!



問い合わせ

富岡市 富岡市観光交流課

〒370-2316 富岡市富岡1151-1(まちなか観光物産館内)
TEL 0274-62-5439
<https://www.tomioka-silk.jp/>

HPはこちら



公式
Instagramで
情報発信中!



下仁田町 下仁田町商工観光課

〒370-2601 甘楽郡下仁田町下仁田682
TEL 0274-64-8805
<https://www.town.shimonita.lg.jp/>

HPはこちら



公式
Instagramで
情報発信中!



甘楽町 甘楽町産業課商工観光係

〒370-2292 甘楽郡甘楽町小幡161-1
TEL 0274-64-8320
<https://www.town.kanra.lg.jp/>

HPはこちら



公式
Instagramで
情報発信中!

